

中勘助文学記念館開館 30 周年記念事業

親子でつくる 楽しい 俳句

9/21 日
10:00-12:00

応募受付

9/1 月 9:00 ~

Google フォームで

申込

(申込順)



昭和 18 年に静岡市郊外(現・葵区新聞)に移住した中勘助は、杓子庵にて俳句を始め、地域の人々と交流を深めました。これにちなみ、初めて俳句にチャレンジするお子様と保護者様向けの俳句講座を開催します。俳句の基礎を学んだ後、テーマを元にそれぞれ俳句を作り、お互いに披露しあってみましょう。五七五という限られた詩型に気持ちを込めると、普段とはひと味違った側面が見えてくるかもしれません。

講 師：三浦 晴子氏（静岡県文化協会理事、静岡県俳句協会理事、俳人協会静岡支部常任理事
俳句教室「湧」同人、新樹の会代表、晴れの会代表）

会 場：中勘助文学記念館（葵区新聞 1089-120）

対 象：小学校 2 年生以上のお子様と保護者様

定 員：10 組 20 名（保護者様お 1 人につき、お子様 2 名等の組み合わせも可）

テーマ：「秋の思い出」

参加する前に、親子で「何が秋の思い出として心に残っているか」話し合ってみましょう。
その思い出のひとつを組み合わせ、季語などのルールを守りながら俳句を作ります。

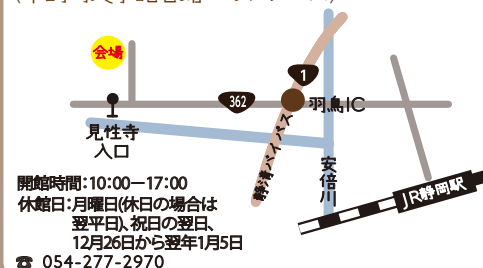
主催 静岡市 企画制作・問合せ（公財）静岡市文化振興財団 ☎ 054-255-4746 / 8:30 ~ 17:00

中勘助文学記念館とは？



子どもの世界をあざやかに描いた「銀の匙」で有名な作家、中勘助が住み執筆活動をした旧前田邸を中勘助文学記念館として、中勘助の生誕 110 年目にあたる平成 7 年に開館しました。多くの随筆や俳句などを執筆したこの地を氏の様々な業績の顕彰の場として、また、和室を文化活動にご利用いただくことができるので、活動を通した心のふれあいの場としても多くの皆様に活用されています。令和 7 年度で開館 30 周年を迎え、これを記念した事業を多数実施します。

〈中勘助文学記念館へのアクセス〉



開館時間：10:00-17:00

休館日：月曜日(休日の場合は翌平日)、祝日の翌日、
12月26日から翌年1月5日

☎ 054-277-2970